

I 調査の概要

1 実施目的

市民が将来にわたり、安全で安心して暮らせる地域社会を目指し、さらに住みよいまちを目指す施策づくりのための資料として田村市政アンケート（市民満足度調査）を実施する。

2 調査項目

調査項目	(1) 市政評価編 (2) 市民意識調査編	属性・市政評価 市民意識・市政要望	9問 21問
------	--------------------------	----------------------	-----------

3 調査対象

(1) 住民基本台帳（18歳以上）より無作為抽出した調査対象者1,000人

	男性	女性	計
18～19歳	61人	60人	121人
20～29歳	62人	63人	125人
30～39歳	63人	64人	127人
40～49歳	64人	64人	128人
50～59歳	64人	64人	128人
60～69歳	62人	64人	126人
70～79歳	62人	61人	123人
80歳～	62人	60人	122人
計	500人	500人	1,000人

参考（18歳以上90歳以下）

田村市人口：28,076人

男：14,194人

女：13,882人

（令和7年1月1日現在）

（市職員、議員を除く）

4 実施日

令和7年2月18日から令和7年3月14日まで

5 回答数

	調査区分	対象者数	回答者数	回収率
第7回(R6)	アンケート調査票	1,000人	349人	34.90%
第6回(R5)	アンケート調査票	1,000人	356人	35.60%
第5回(R4)	アンケート調査票	1,000人	396人	39.60%
第4回(R3)	アンケート調査票	1,000人	405人	40.50%
第3回(R2)	アンケート調査票	1,000人	414人	41.40%
第2回(R1)	アンケート調査票	1,000人	443人	44.30%
第1回(H30)	アンケート調査票	1,000人	444人	44.40%

6 担当 田村市 総務部 総務課 秘書広報広聴係

7 調査内容

(1) 市政評価編 9問

○回答者の属性・田村市の住みやすさ

問1～5 属性（年齢、性別、居住地域、家族の人数、職業）

問6 田村市に住み続けてからの年数

問7 田村市の住みやすさ

○市政各分野における満足度と期待度

問8 市政各分野の施策について、日ごろ感じられる満足度

問9 市政各分野における期待度（今後、力を入れてほしい施策）

(2) 市民意識調査編 21問

○市民サービスについて

問10 市役所・行政局を利用したことはあるか

問11 市役所職員の対応

Ｌ問11-① 市役所職員の対応で改善してほしい点

○たむら市民大学たまりについて

問12 たむら市民大学たまりの認知度

問13 たむら市民大学で学んでみたい講座

Ｌ問13-① たむら市民大学で教えてみたい講座

○公共交通について

問14 デマンドタクシー利用方法の認知度

Ｌ問14-① デマンドタクシーを利用したことはあるか

問15 デマンドタクシーの利用方法を知っているか

問16 デマンドタクシーを利用しない理由

○田村スマートインターチェンジについて

問17 田村スマートインターチェンジの認知度

Ｌ問17-① 田村スマートインターチェンジの利用

問18 スマートインターチェンジの利用方面

問19 スマートインターチェンジを利用しない理由

○マイナンバーカードについて

問20 マイナンバーカードを持っているか

Ｌ問20-① マイナンバーカードを利用した目的

○田村市版デジタル地域通貨について

問21 田村市デジタル地域通貨があれば利用するか

Ｌ問21-① その他記述

問22 田村市版デジタル通貨は必要か

Ｌ問22-① その他記述

○地域活動について

問23 現在、あるいは過去に参加したことがある地域・市民活動は

問24 今後参加してみたい地域・市民活動は

Ｌ問24-① その他記述

○たむら市政だよりについて

問25 たむら市政だよりを読んでいるか

問26 たむら市政だよりを読む時間

問27 たむら市政だよりを読まない理由

└問27-① その他記述

問28 取り上げてほしい内容・不必要な内容

○その他

問29 生活の中での困りごと（自由記載） ※掲載なし

問30 市政運営についての意見・要望（自由記載） ※掲載なし

8 集計の見方

- (1) 集計中の「n」は、回答者総数です。該当する回答を複数答える質問については、該当者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- (2) 図表および本文中の数値（%）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。
- (3) 本報告書中、表やグラフなどの見出しおよび文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- (4) 満足度、期待度の示し方については、下記のとおりです。

《市民満足度の示し方》

全体的な市民満足度については、「満足」＋「ほぼ満足」の回答者数を、全回答数から「わからない」・無回答数を差し引いた値で割って算出しています。

●市民満足度（割合 %）

$$\frac{\text{「満足」} + \text{「ほぼ満足」回答者数}}{\text{全回答数（n）} - \text{「わからない」} - \text{無回答数}}$$

《満足度の示し方》

各項目の満足度については、満足度のそれぞれの選択肢に、下記に示すような点数をつけ、合計を回答数で割って算出しました。

回答数は全回答数から「わからない」・無回答数を差し引いた値です。

●各項目の満足度（5段階評価）

$$\frac{\text{「満足」} \times 5 + \text{「ほぼ満足」} \times 4 + \text{「ふつう」} \times 3 + \text{「やや不満」} \times 2 + \text{「不満」} \times 1}{\text{全回答数（n）} - \text{「わからない」} - \text{無回答数}}$$

《期待度（今後、力を入れて欲しい施策）の示し方》

各項目の期待度については、「何よりも先に力を入れて欲しい」「かなり力を入れてほしい」を選んでいただいた人の割合（%）を算出しました。

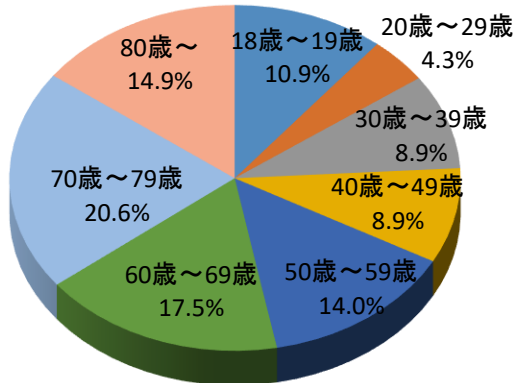
●期待度（割合 %）

$$\frac{\text{「何よりも先に力を入れて欲しい」} + \text{「かなり力を入れて欲しい」回答者数}}{\text{全回答数（n）}}$$

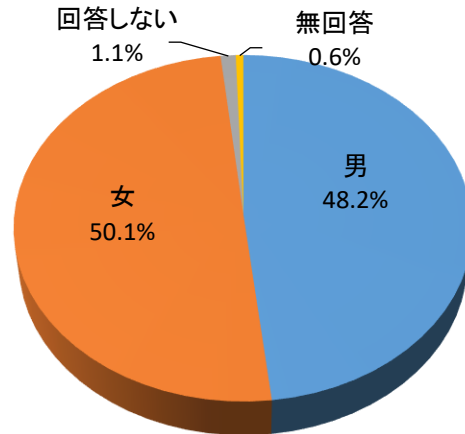
《市政評価編》

○回答者の属性・田村市の住みやすさ

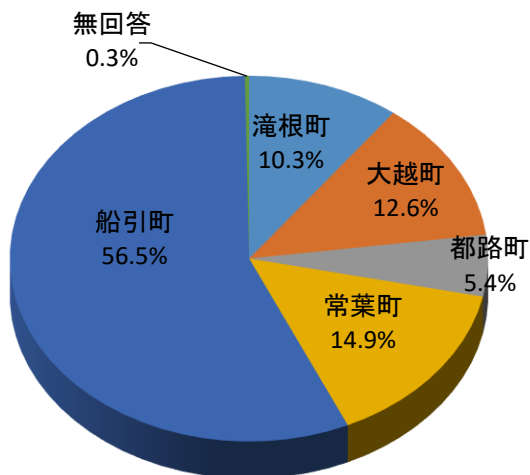
問1 年齢（年代別）（n=349）



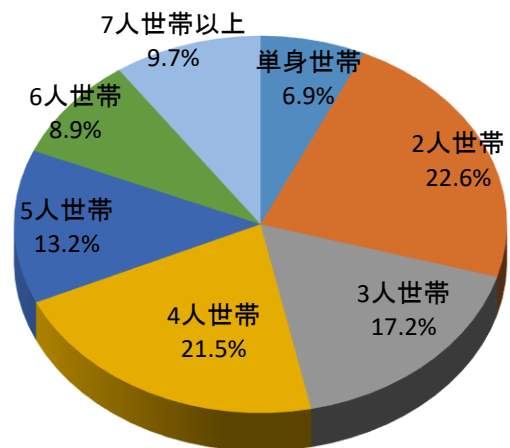
問2 性別（n=349）



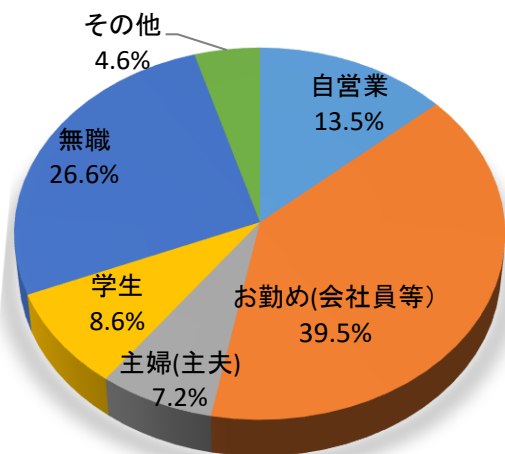
問3 居住地域（n=349）



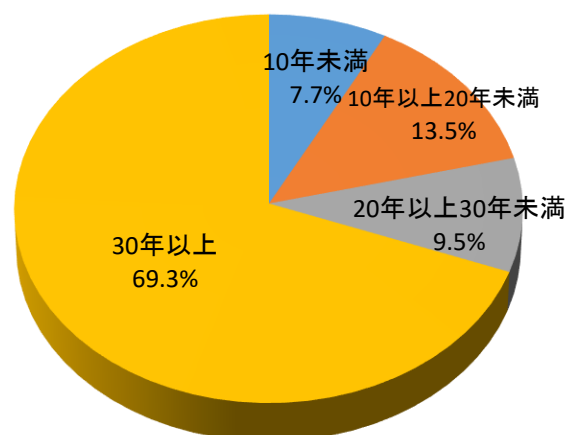
問4 家族の人数（n=349）



問5 職業（n=349）



問6 田村市に住み続けてからの年数（n=349）

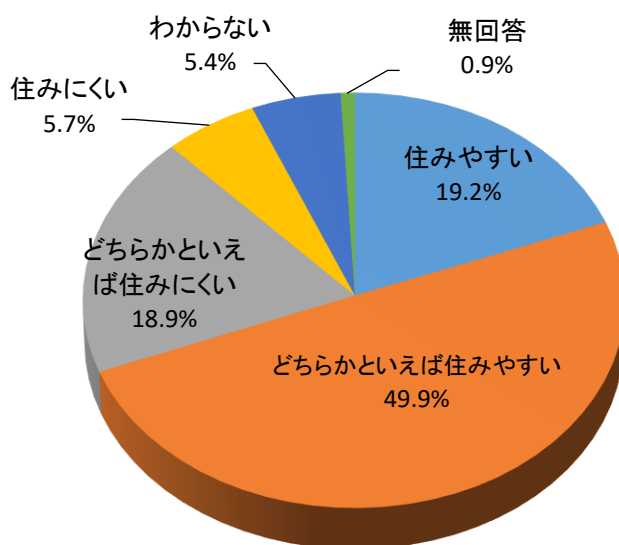


問7 田村市の住みやすさについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

「住みやすい（どちらかといえば住みやすい）」が前年より4.5%増加した。

「住みにくい（どちらかといえば住みにくい）」が前回より0.4%減少した

住みやすい（どちらかといえば住みやすい）	69.1%	（前回	64.6%）
住みにくい（どちらかといえば住みにくい）	24.6%	（前回	25.0%）
わからない	5.4%	（前回	7.3%）
無回答	0.9%	（前回	3.1%）



(n=349)

○市政各分野における満足度と期待度

問8 市政各分野の施策について、日ごろ感じられる満足度

問9 市政各分野における期待度（今後、力を入れてほしい施策）

市が行う施策や事業について、22項目に分類し、5段階で評価していただきました。

また、同じ22項目で今後、力を入れてほしい施策について選んでいただきました。

市政各分野における満足度・期待度

分野	項目		満足度(5段階評価)			期待度(割合)		
			評価	順位		割合	順位	
				今回	前回		今回	前回
医療福祉	①	福祉	3.05	3位	4位	23.8%	5位	3位
	★②	保健・医療	2.84	13位	14位	36.4%	1位	1位
子育て・教育	③	子育て支援	3.02	6位	7位	24.4%	4位	2位
	④	幼稚園・保育園	3.25	1位	2位	20.1%	9位	9位
	⑤	義務教育	3.19	2位	1位	21.5%	7位	9位
生涯学習	⑥	芸術・文化	2.94	7位	12位	6.9%	21位	22位
	⑦	スポーツ	2.92	8位	6位	11.2%	18位	21位
生活環境	★⑧	道路	2.47	22位	18位	27.8%	2位	5位
	★⑨	水路	2.69	15位	14位	23.2%	6位	11位
	⑩	上水道・下水道	2.81	14位	9位	16.0%	14位	14位
	⑪	公園	2.64	17位	17位	13.8%	17位	17位
	⑫	緑化	2.86	11位	13位	8.6%	19位	19位
	★⑬	公共交通	2.61	18位	19位	25.5%	3位	4位
	⑭	環境対策	3.04	5位	8位	14.9%	15位	14位
仕事	⑮	商工業振興	2.61	18位	19位	17.5%	11位	6位
	⑯	観光業振興	2.68	16位	16位	16.9%	13位	13位
	★⑰	農林水産業振興	2.53	21位	19位	21.2%	8位	12位
安全	⑱	危機管理・防災対策	2.88	10位	9位	17.5%	11位	7位
	⑲	防犯・交通安全対策	2.89	9位	5位	14.3%	16位	16位
地域づくり	⑳	市民協働	2.85	12位	9位	6.6%	22位	18位
	㉑	移住・定住	2.61	18位	22位	16.9%	13位	7位
広報	㉒	情報提供	3.05	3位	3位	8.6%	20位	20位
平均			2.83	-	-	17.9%	-	-

※「★」は満足度が平均未満で、期待度が平均以上の項目

市民満足度

●満足～ほぼ満足 16.84% (前回 15.43%)

満足度 全22項目の平均値 5段階評価中 2.84 (前回 2.80)

●満足度が高い施策

1位 (↑) (前回2位)	幼稚園・保育園	3.25	(↑) (前回3.09)
2位 (↓) (前回1位)	義務教育	3.19	(↑) (前回3.10)
3位 (↑) (前回4位)	福祉	3.05	(↑) (前回3.02)
3位 (―) (前回3位)	情報提供	3.05	(↓) (前回3.06)
5位 (↑) (前回8位)	環境対策	3.04	(↑) (前回2.86)

●満足度が低い施策

22位 (↓) (前回18位)	道路	2.47	(↓) (前回2.62)
21位 (↓) (前回19位)	農林水産業振興	2.53	(↓) (前回2.55)
18位 (↓) (前回19位)	商工業振興	2.61	(↑) (前回2.55)
18位 (↑) (前回22位)	移住・定住	2.61	(↑) (前回2.53)
18位 (↓) (前回19位)	公共交通	2.61	(↑) (前回2.55)

期待度

全22項目中「何よりも力を入れてほしい/かなり力を入れて欲しい」と回答した割合が高い施策。

●期待度が高い施策

1位 (―) (前回1位)	保健・医療	36.4%	(↓) (前回41.85%)
2位 (↑) (前回5位)	道路	27.80%	(↑) (前回26.40%)
3位 (↑) (前回4位)	公共交通	25.50%	(↓) (前回27.53%)
4位 (↓) (前回2位)	子育て支援	24.40%	(↓) (前回30.06%)
5位 (↓) (前回3位)	福祉	23.80%	(↓) (前回29.21%)

上記の結果から、田村市民は幼稚園・保育園や義務教育といった子育て施策に高い満足度を感じている一方で、道路や公共交通などのインフラ関係や、農林水産業や商工業振興などの産業施策の満足度が低い傾向が見られます。

期待度が高い施策を分析すると、上位の施策は顔ぶれが昨年度と変わらず、順位が変動しているのみです。そのため、昨年に引き続き市民が現状からの改善を強く求める施策となっています。特に「道路」、「公共交通」は満足度が低く、なおかつ期待度が高い施策となっており、市民が最も改善を期待している施策であると推測できます。

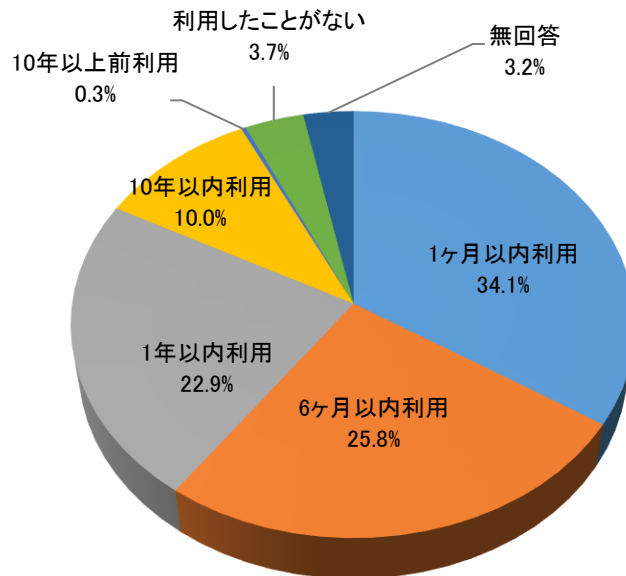
その一方で、「子育て支援」、「福祉」については、満足度が高く期待度も高いことから、より充実が求められ、特に市民の関心が高い施策であると分析できます。

《市民意識調査編》

○市民サービスについて

問10 市役所・行政局を利用したことはあるか

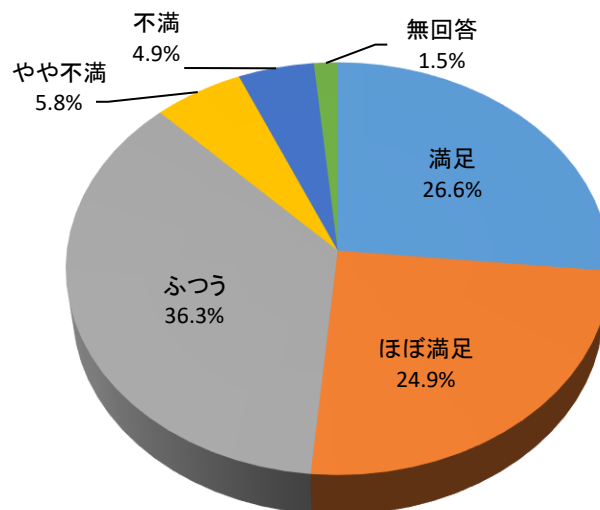
市民の90%以上が市役所・行政局を利用したことがある



問11 市役所職員の対応についてどう思われますか。

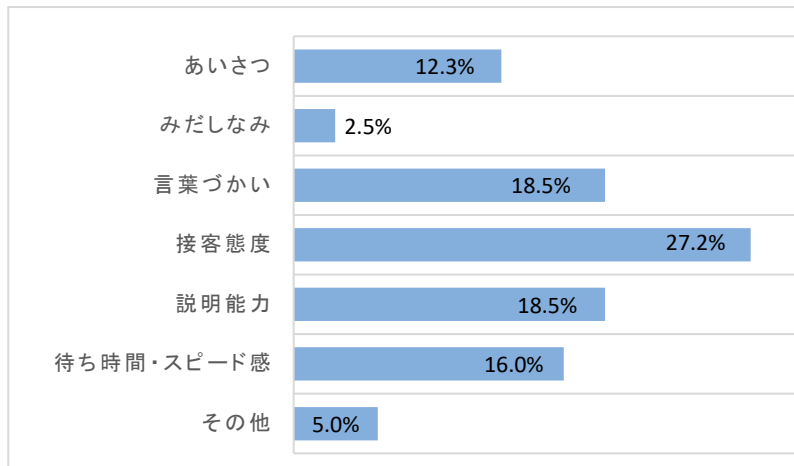
あてはまるもの1つに○をつけてください。

「満足（ほぼ満足）」が51.5%、「不満（やや不満）」が約10.7%



○満足（ほぼ満足）は51.5%で、前回の31.4%より20.1%増加し、不満（やや不満）は10.7%で、前回の15.7%より5%減少しました。ふつうは36.3%で、前回の44.9%より8.6%減少しました。○満足（ほぼ満足）及び不満（やや不満）と回答の増減を前年度と比較すると、職員の対応に大幅な改善が見られます。しかし市民からは、より良い対応が求められていると考えられます。今後も職員の意識改革・教育に努め、不満（やや不満）が少しでも減少し、市職員として市民の皆さんに、より満足いただけるような行政サービスに努めます。

問11-① 「やや不満」「不満」とお答えした方にお聞きします。市役所職員の対応のどこを改善してほしいと思いますか？あてはまるもの全てに○をつけてください。



※その他記述 P29に記載

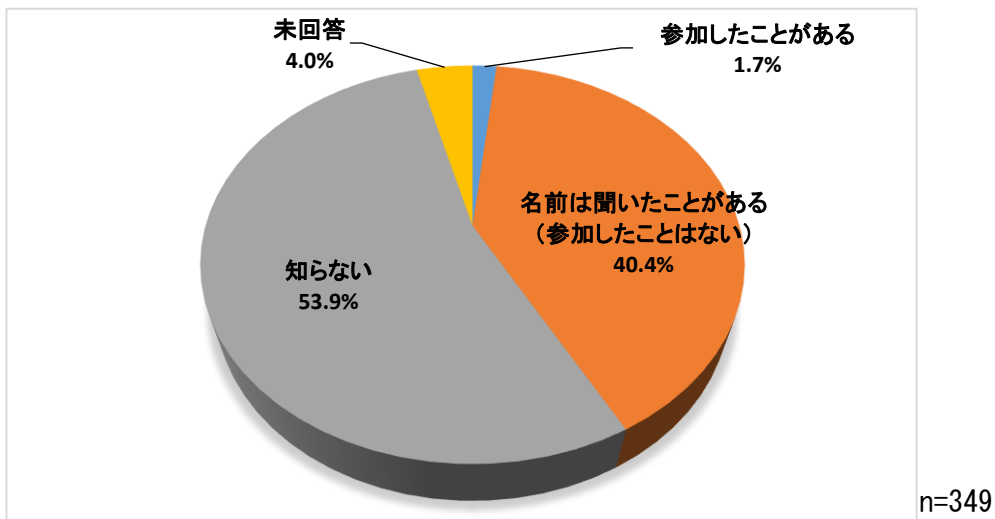
○今回も職員の対応で改善すべき点について、接客態度、言葉づかい、説明能力が多くあげられています。引き続き改善に向けて職員の意識改革、教育に努めます。

○たむら市民大学たまりについて

問12 たむら市民大学たまりの認知度

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「参加者したことがある」は1.7%、「知らない」という回答が53.9%となっている。



○ いまだ認知度が不足しているため、広報等を活用し認知度の向上に努めます。

問13 たむら市民大学で学んでみたい講座について

自由記述P30記載

問13-① たむら市民大学で教えてみたい講座

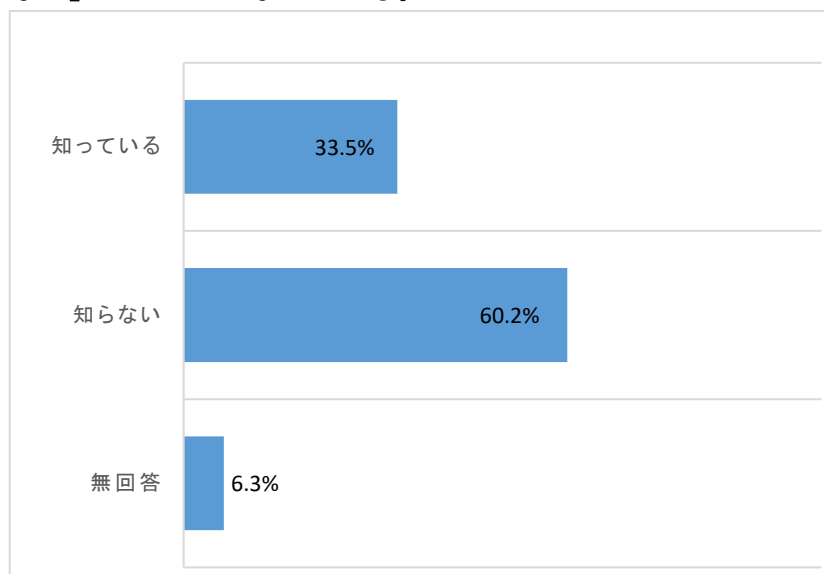
自由記述P30に記載

○公共交通について

問14 デマンドタクシー利用方法の認知度

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知らない」が60.2%となっている。



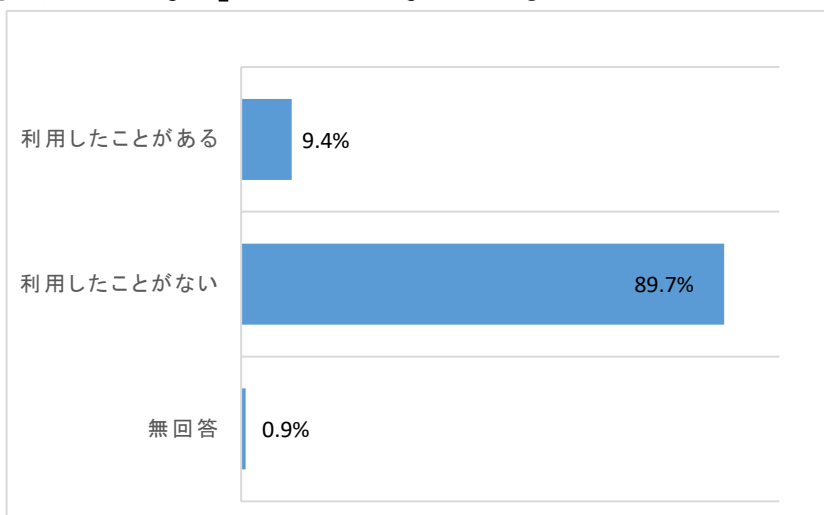
n=349

問14で「知っている」と回答した方

問14-① デマンドタクシーを利用したことはあるか

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用したことがない」が89.7%となっている



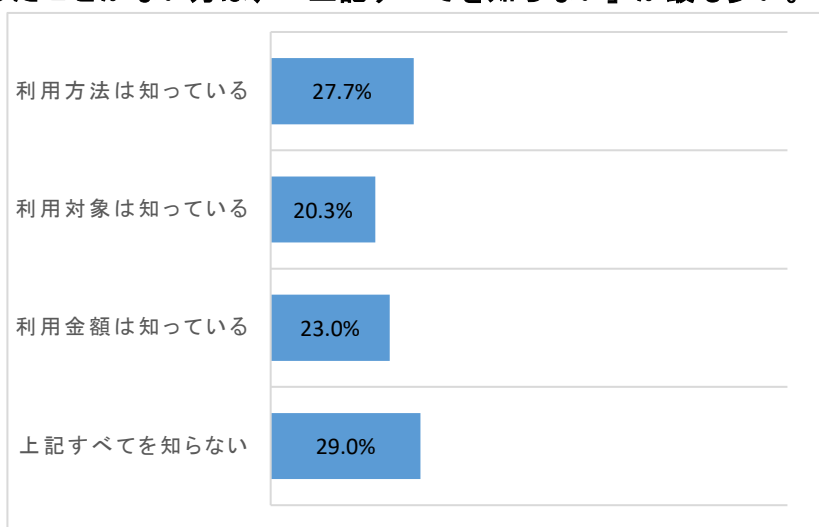
n=117

問14-①で「利用したことがない」と回答した方

問15 デマンドタクシーの利用方法を知っているか

あてはまるもの1つに○をつけてください。

利用したことがない方は、「上記すべてを知らない」が最も多い。



n=105人

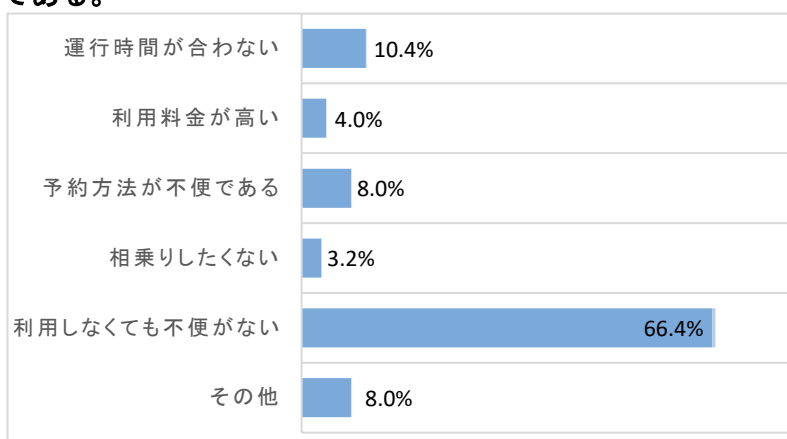
○「知らない」と答えた方が半数以上となり、周知が行き届いていないことがわかります。特に利用する場面が少ない若年層の割合が高いと考えられます。

問15で「知っている」と回答した方

問16 らくらくタクシーを利用しない理由

あてはまるもの1つに○をつけてください。

最も多いのが「利用しなくても不便がない」の66.4%、最も少ないのが「相乗りしたくない」3.2%である。



n=125

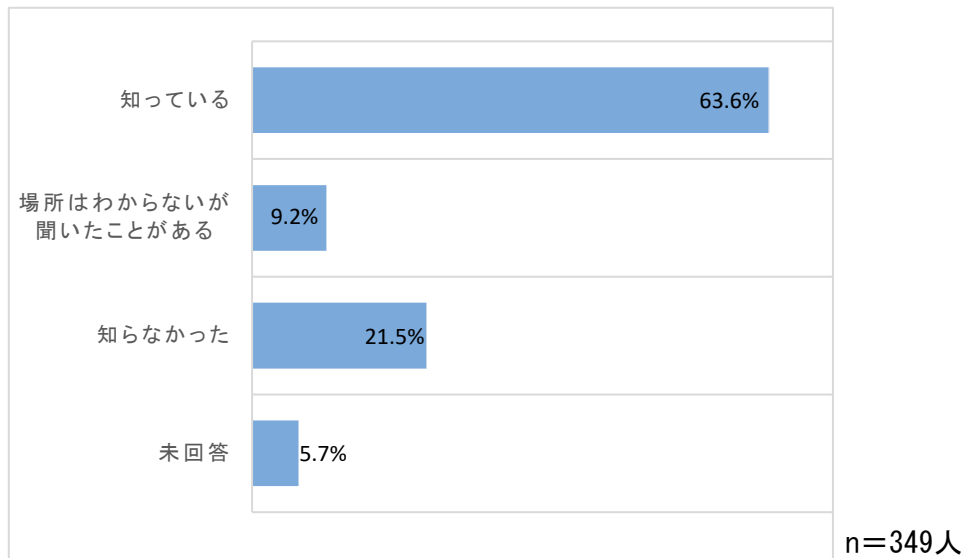
○「利用しなくても不便がない」と答えた方が66.4%と、最も多い回答となっています。車がない生活に困る地域では、本来利用を必要とする高齢者も車を所持する方が多く、そもそも利用する機会が少ないことが考えられます。

今後はらくらくタクシーの更なる周知に努め、公共交通の利用促進を進めます。

問17 田村スマートインターチェンジの認知度

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「存在を認知」（知っている・聞いたことがある）の回答が63.6%となっている。

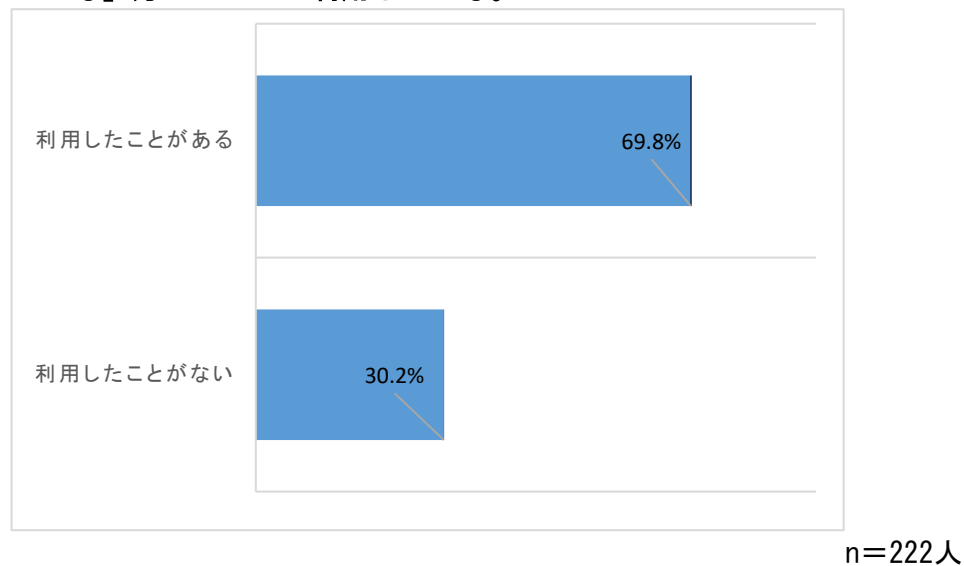


問17で「知っている」と答えた方へ

問17-① 田村スマートインターチェンジの利用

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知っている」方の69.8%が利用している。



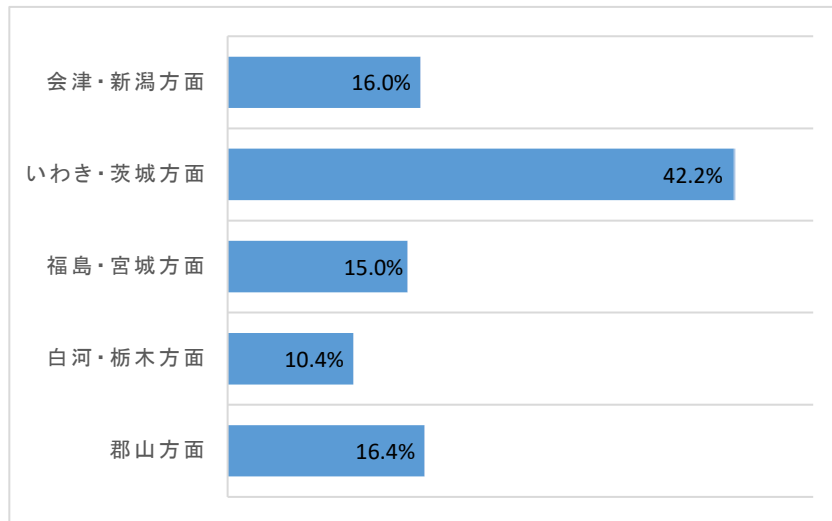
○田村スマートインターチェンジを「利用したことがある（知っている方）」との回答が全体の69.8%を占める一方で、スマートインターの存在を認知していない方が21.5%存在する。高速道路という性質上、車を持っていない方や利用しない方はインターチェンジの存在を意識しないため、存在を認知しない回答者の多くを占めていると考えられる。

問17-①で「利用したことがある」と回答した方へ

問18 スマートインターチェンジの利用方面

あてはまるものすべてに○をつけてください。

「いわき・茨城方面」への利用者が42.2%と、最も多い回答となっている。



n=287

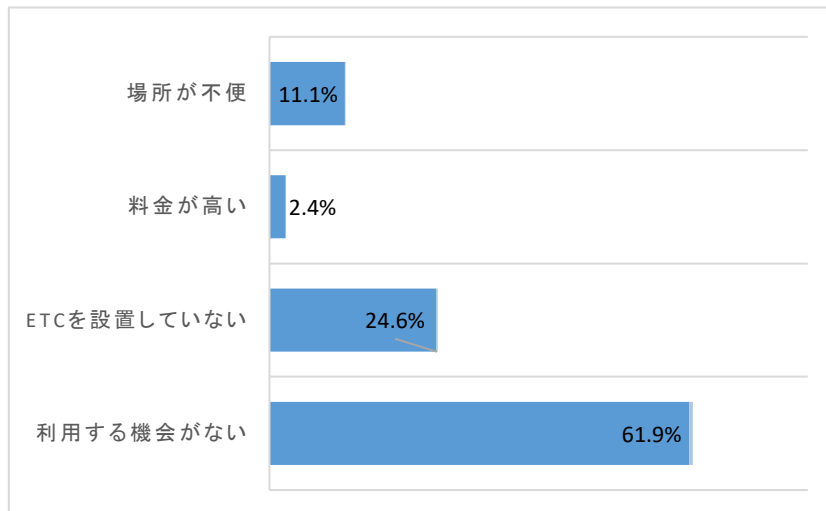
○田村スマートインターチェンジ利用者の42.2%が「いわき・茨城方面」となっており、船引三春インターチェンジと小野インターチェンジの中間地点として、いわき方面へのアクセスに大きく貢献していると考えられます。

問17-①で「利用したことがない」と回答した方へ

問19 スマートインターチェンジを利用しない理由

あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用したことがない」方の61.9%が「利用する機会がない」と回答



n=126

○「利用する機会がない」と回答した方が最も多く、61.9%となっている。一般道での移動が多い人や、遠出や旅行をしない高速道路を使う必要がない方が多いと考えられます。

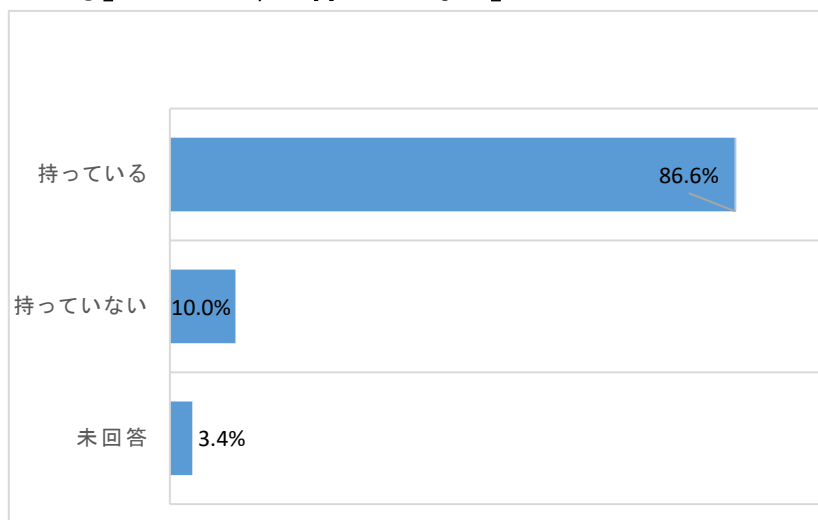
今後も皆様に田村スマートインターチェンジを利用していただけるよう周知し、利用促進に努めてまいります。

○マイナンバーカードについて

問20 マイナンバーカードを持っているか(n=349)

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「持っている」が86.6%、「持っていない」が10%



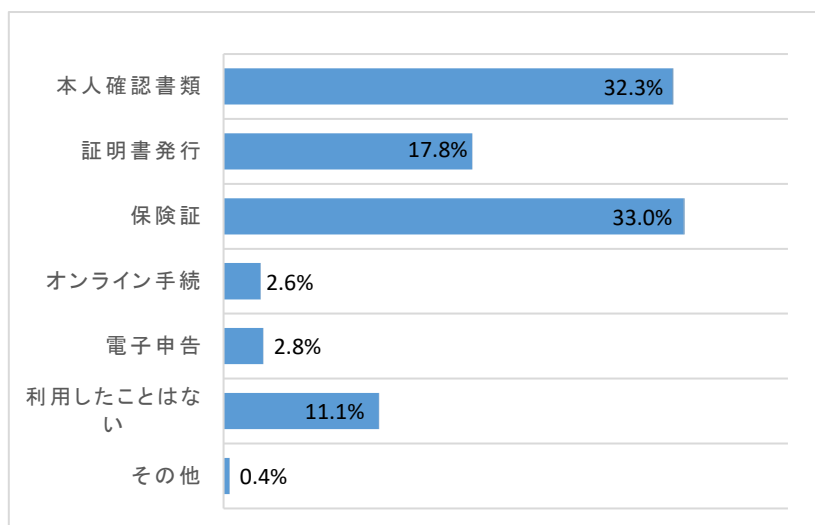
n=349

問20で「持っている」と答えた方へ

問20-① マイナンバーカードを利用した目的

あてはまるもの1つに○をつけてください。

最も多い利用目的は「保険証」の33%、次に多いのが「本人確認書類」の32.3%

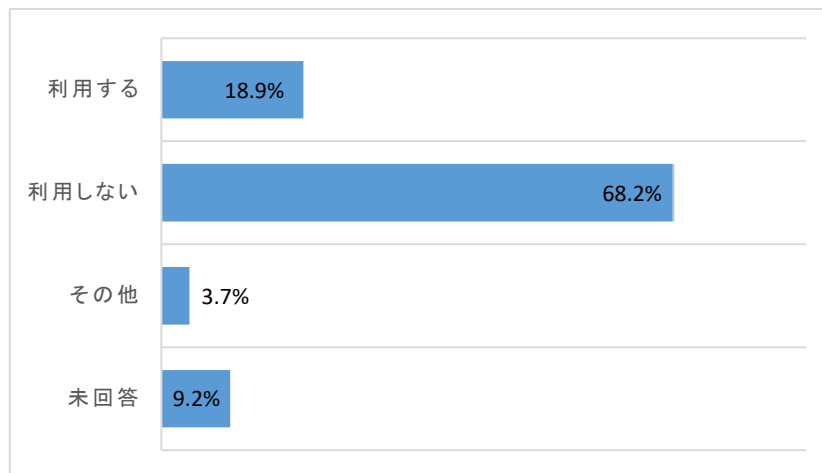


○マイナンバーカードを所持しているとの回答が86.5%となっている。主な利用目的は、保険証や本人確認書類としての利用が多い。その一方でオンライン手続や電子申告で利用しているとの回答が低い傾向にあります。様々な利用方法を認知していただくため、今後も利用方法等の周知に努めてまいります。

○田村市デジタル通貨について

問21 田村市デジタル地域通貨があれば利用するか
あてはまるもの1つに○をつけてください。

「利用しない」が68.2%



n=349

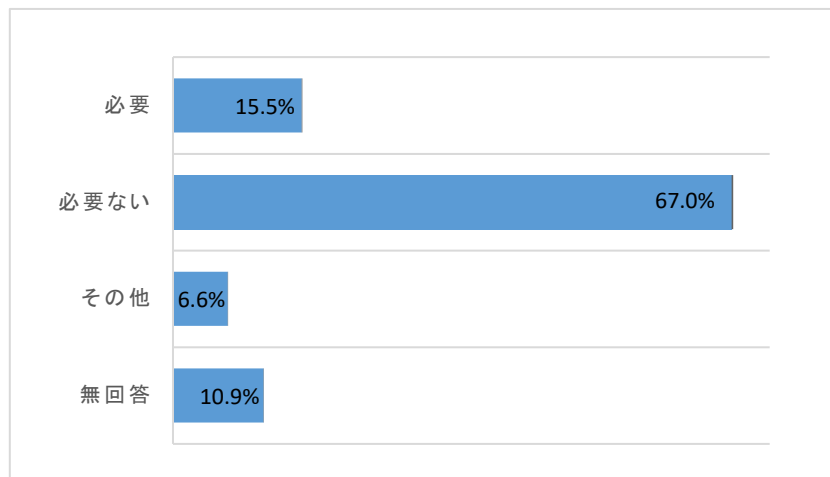
問21-① その他記述

自由記載 P33に記載

問22 田村市版デジタル通貨は必要か

あてはまるもの1つに○をつけてください。

「必要ない」が67%



n=349

問22 その他記述-①

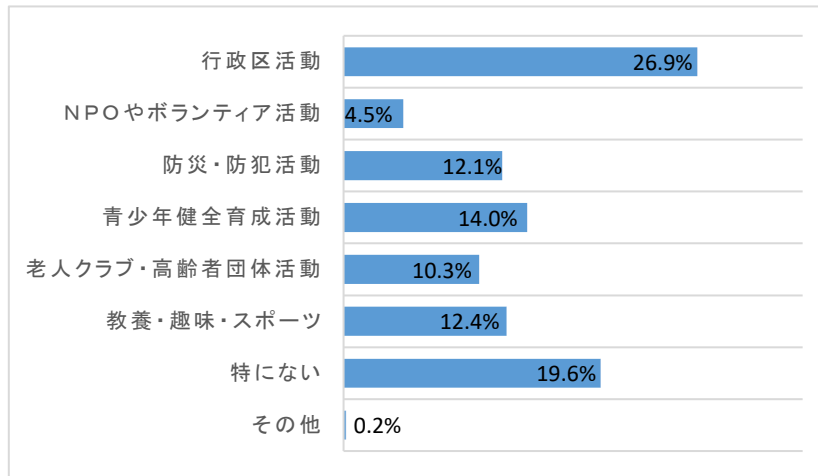
自由記載 P33に記載

○デジタル通貨について、「利用しない」が68.2%、「必要ない」が67%となっています。
自由記載では、メリットとデメリットについての疑問や、必要性を感じないなどの意見がありました。デジタル通貨の周知方法、運用について今後も検討してまいります。

○地域活動について

問23 現在、あるいは過去に参加したことがある地域・市民活動は

「行政区活動」の回答が最も多い26.9%、次いで「特にない」が19.6%となっている

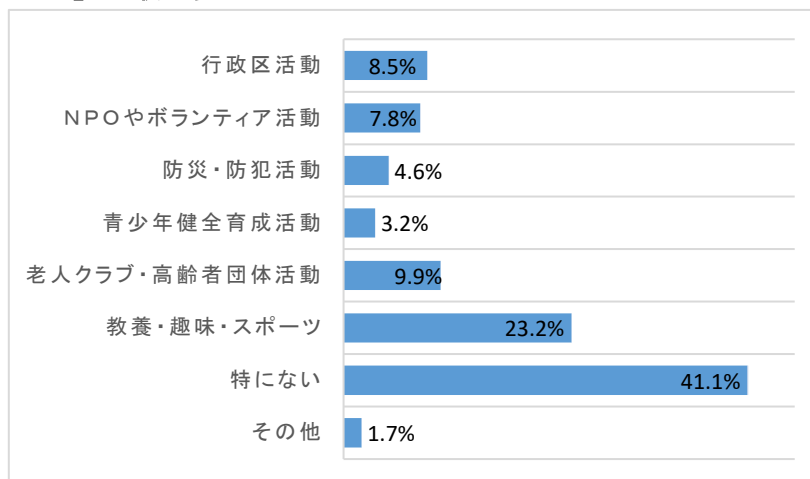


n=572

問24 今後参加してみたい地域・市民活動は

あてはまるものすべてに○をつけてください。

「特にない」が最も多い41.1%



n=436

問24-① その他記述

自由記載 P34に記載

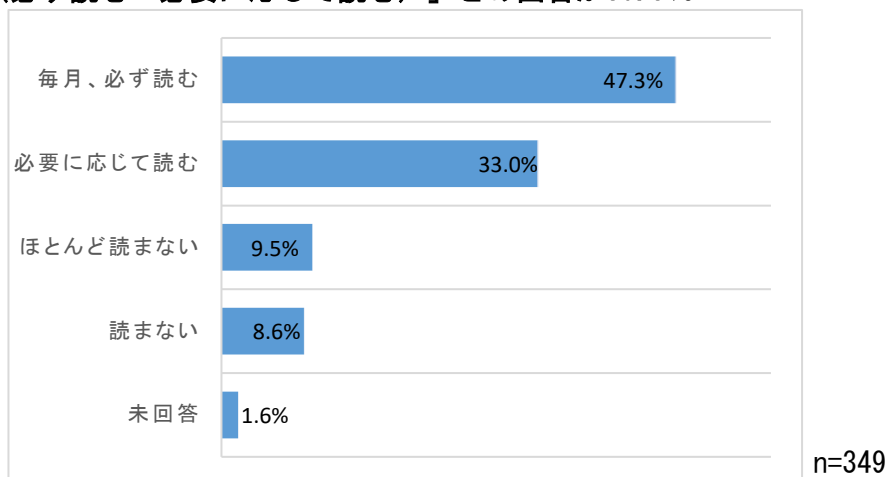
○地域活動の参加が「特にない」方が多く、また今後参加したい地域活動も「特にない」が多い結果となっています。地域・市民活動への関心は低いものとなっています。今後も地域に合った活動や支援等を検討してまいります。

〇たむら市政だよりについて

問25 たむら市政だよりを読んでいるか

あてはまるもの1つに〇をつけてください。

「読む（必ず読む・必要に応じて読む）」との回答が80.3%

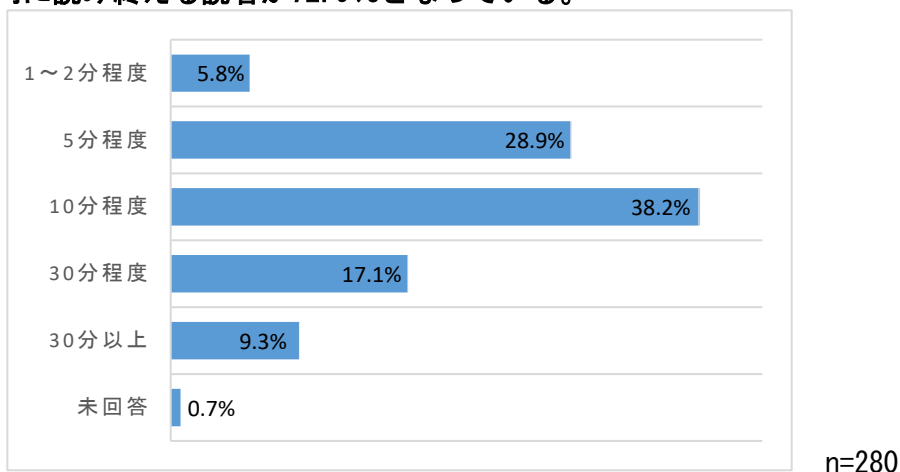


問25で読むと答えた方へ

問26 たむら市政だよりを読む時間

あてはまるもの1つに〇をつけてください。

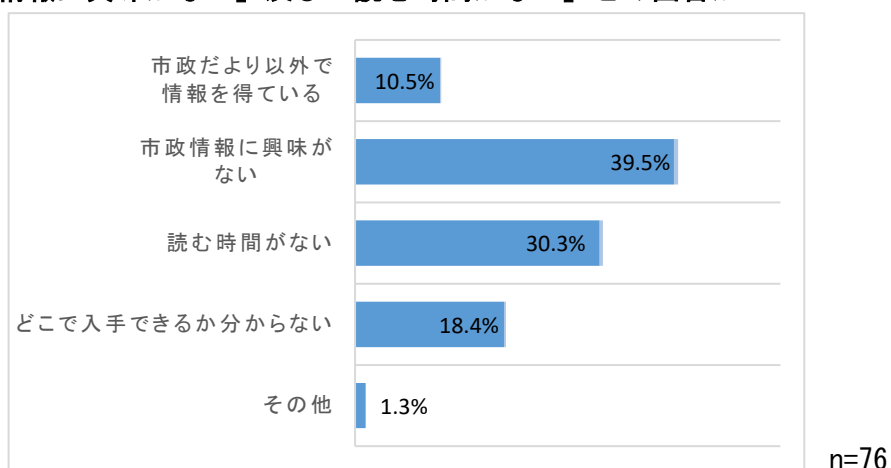
10分以内に読み終える読者が72.9%となっている。



問25で読まないと答えた方へ

問27 たむら市政だよりを読まない理由

「市政情報に興味がない」及び「読む時間がない」との回答が69.8%



問27-① その他記述

自由記載 P36に記載

問28 取り上げてほしい内容・不必要な内容

自由記載 P36に記載

○「たむら市政だより」のさらなる充実とイベント情報等のSNS活用により、皆さんが求める情報を迅速にわかりやすく入手できるよう、引き続き取り組んでいきます。

○その他

問29 生活の中での困りごと（自由記載） ※掲載無し

問30 市政運営についての意見・要望（自由記載） ※掲載無し